



石狩地域森林ふれあい推進センター

今回は、当センターが野幌国有林において、台風被害箇所を自然林へ移行させることを目的とした「野幌森林再生プロジェクト」の一環として実施している「野幌森林づくり塾」について紹介いたします。

この塾は、一般市民を対象に、森林づくりの基礎を学び、実際に作業を体験しながら、森林と人とのかわりについて理解を深めていただくため、平成17年から実施し、今年で13年目を迎えています。

塾においては、森林づくりに必要な保育作業、木材生産等についての基礎知識を学ぶとともに、実際に苗木の育成、樹木の種子の採取、植栽、下草刈り、除伐の作業を体験していただいております。また、個々の樹木調査(直径・樹高の測定等)のほか、作業区域の周囲測量や林内照度調査などの森林調査の基礎技術も習得していただいております。

さらに、森林を幅広い目で見ていただくため、森の

分解者である菌類のほか、昆虫、野鳥、森林土壌、外来種問題等森林に関連する多様なテーマを用意し、森林をいろいろな角度から見ただくようにしております。学識者に講義を依頼する際には、それぞれの専門的知識だけでなく、森林内での作業との関わりについても必ず触れていただくようにお願いしております。



森林の手入れを学ぶ

塾生は、毎年定員20名の募集で、開講当初は十数名程度の応募しかありませんでしたが、現在では40名を超える応募があり、一般市民の森林内でのボランティア活動及び森林環境に対する関心の高さを実感している

るところです。また、最近では20から30歳代の若手層の参加も見られ、リーダーも常に半数程度いるのもこの塾の特徴のひとつとなっております。

毎年、講義内容の一層の充実を図るため、塾生にアンケート調査を実施し、次年度の実施内容についての要望を把握していますが、これまでの実施内容の濃さ等に大変満足している旨の回答も多く、主催者としても一定の成果があったと感じているところです。



菌類を学ぶ

このように毎年の取り組みを積み重ねた結果、塾生のみならず、野幌国有林

における様々なイベント等に積極的に参加するだけでなく、野幌森林再生プロジェクトの一員として、実際のボランティア活動に加わり、森林内での作業や調査を行い、活躍されています。



歴史を学ぶ  
(昭和天皇「駐蹕の碑」※の前で)

今後においても、一般市民のみならず、森林について何を思い、何を求めているのかを常に意識し、有意義な講義内容になるよう継続実施していきたいと考えています。

※「駐蹕の碑」(ちゅういつのひ) 昭和11年10月に昭和天皇が行幸の途中で風食をとるためにお休みになられたことを記念して、この碑が建立されました。